平成28年５月１日　第134号
発行／南幌町議会　編集／議会広報特別委員会

なんぽろ議会だより

日生バイオ（株）北海道工場　試験操業始まる！　写真はスプレードライヤー（噴霧乾燥器）

第１回定例会　３月８日～15日

人口減少対策関連予算を可決

３月議会定例会は３月８日に開会し、平成28年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。その後、平成27年度各会計補正予算など６議案を審議し、いずれも原案のとおり可決、また平成28年度各会計予算案と関連条例案など18議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。（審議内容は22ページ）

２日目は５名の議員が一般質問に立ち、執行方針等に対する町長の考えをただしました。

本会議は15日に再開し、平成28年度各会計予算案、条例制定など19議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

平成27年度補正予算

○一般会計
補正予算（第4号）

主に地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業委託料、南幌温泉基金積立金、地域経済循環創造事業交付金、経営体育成基盤整備事業負担金の追加。小学校及び中学校改修工事費の減額並びに年度末における事務事業の精査によるものです。

質疑

議員 臨時福祉給付金等支給事業国庫補助金について、本町での平成26年度、27年度2年間の2つの給付金の総額、金額と該当者数、新たに導入する給付金の金額、及び該当する人数を伺う。

保健福祉課長 平成27年度の臨時福祉給付金の該当者は実績で1，433人、支給額が859万8，000円です。子育て世帯特例給付金については実績で734人、支給額で220万2，000円です。

新たな高齢者向けの給付金は、該当予定者が930人、支給予定額は2，894万5，000円です。

○一般会計
補正予算（第5号）

国の地方創生加速化交付金を活用した広域連携事業として空知・首都圏交流基盤創造事業及び学生地域定着支援促進事業に伴う経費の追加によるものです。

○国民健康保険特別会計
補正予算（第3号）

主に歳入では、平成27年度保険税、国庫支出金の減額。療養給付費交付金、共同事業交付金の追加。歳出では、高額医療費支給システムの改修、国庫支出金清算金の追加。高額医療拠出金並びに保険財政安定化事業拠出金の減額、並びに年度末における各種財源の精査によるものです。

○病院事業会計
補正予算（第3号）

主に業務予定量の見直し、一般会計からの繰入れ及び年度末における事務事業費の精査によるものです。

○下水道事業特別会計
補正予算（第2号）

事業費並びに公債費償還金の精査及び歳入財源の減額、財源充当の変更等によるものです。

○介護保険特別会計
補正予算（第4号）

主に歳入では、保険給付費の増額に伴う国庫支出金、道支出金、基金繰入金等の追加。歳出では、保険給付費の追加、及び年度末における各種財源の精査によるものです。

○後期高齢者医療特別会計
補正予算（第1号）

主に歳入では、一般会計繰入金及び繰越金の精査。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金の追加によるものです。

条例制定等

○南幌町行政不服審査会条例（制定）

○南幌町情報公開条例（改正）

○南幌町個人情報保護条例（改正）

○南幌町手数料徴収条例（改正）

○町税条例（改正）

○固定資産評価審査委員会条例（改正）

○南幌町町税等の滞納に対する行政サービス等の制限措置に関する条例（改正）

行政不服審査法改正のため。

○南幌町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例（改正）

小学生以下に対する医療費の全額助成に伴い一部改正が必要なため。

○南幌町乳幼児等医療費の助成に関する条例（改正）

乳幼児等に対する医療費の全額助成及び保護者の所得制限の廃止に伴い一部改正が必要なため。

○南幌町児童生徒等医療費の助成に関する条例（改正）

小学生に対する医療費の全額助成及び保護者の所得制限の廃止に伴い一部改正が必要なため。

○南幌町立学校施設の開放に関する条例（改正）

旧夕張太小学校の譲渡に伴い一部改正が必要なため。

○南幌町旧夕張太小学校施設等利活用促進条例（廃止）
旧夕張太小学校の譲渡に伴うもの。

○職員の給与に関する条例（改正）
○南幌町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（改正）
○南幌町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例（改正）
地方公務員法などの改正に伴い一部改正が必要なため。

○南幌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する条例（改正）
○南幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例（改正）
国の基準の一部改正に伴うもの。

その他

○指定管理者の指定
南幌温泉ハート＆ハートの指定期間の満了に伴い、㈱アンビックスを指定するものです。

全員協議会

2月24日
○南幌振興公社の株式取得、道央廃棄物処理組合施設建設予定地、し尿処理収集手数料の改定、南幌町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと総合戦略、第6期南幌町総合計画の策定について協議しました。

全員協議会とは
議員全員が出席して町政状況の報告を受けたり、議員の自由討議により調査・審議等を行う会議です。

委員会活動

（1月～3月までの開催分）

総務常任委員会
○町民プール現地調査
1月20日

産業経済常任委員会
○都市公園指定管理について
2月3日

議会運営委員会
○定例会の運営について
3月1日

まち活性化特別委員会
○議会報告懇談会について
1月25日・2月8日

町政を知る良い機会
議会を傍聴しませんか！
第２回定例会は６月開催です。
※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー、ぽろろ図書室並びにホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス
http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

平成28年第１回議会定例会

平成28年度各会計予算、条例案、平成27年度各会計補正予算など27議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

一般質問

5人の議員が一般質問に立ち町長の考えをただしました

問 子育て世代の移住・定住促進の方向性は

答 新築住宅助成に優先的に取り組みます

熊木　惠子　議員

熊木議員

南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略が示され、施策のひとつに子育て世代が定住したくなる住環境づくりの推進があげられ、みどり野団地の販売促進として建築費助成事業が5年計画で実施予定となっています。

子育て支援策や福祉、教育施策、札幌圏・千歳空港への利便性、環境の良さをアピールし、移住、定住を促進させるためには思い切った方向を示すことが必要と考えます。そこで3点伺います。

①若い子育て世代、熟年世代のニーズを把握し、南幌に住むことが魅力になる、住んでみたいと感じられるようなPRが必要であり、また、北海道住宅供給公社との連携により、町で一定の区画を取得し販売する考えは。

②住宅メーカーとの連携による住宅取得のためのセミナーや、モデル住宅建設の考えは。

③戸建て住宅支援のほか、中古住宅取得に対する補助金設定の考えは。

町　長

南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略については、人口減少という現実に即し、地域の活力を創生していくための目標を定め、人口ビジョン及び総合戦略の策定に向け検討を進めてきたところです。

①みどり野団地は北海道住宅供給公社が造成し、既に販売をしている土地であることから、町として販売するために取得する考えはありません。

②住宅メーカーへのPRは必要であると考えており、可能な限り多くの住宅メーカーと接触し事業内容の説明を行います。

住宅取得のセミナーは住宅展示場での開催や住宅メーカーが個別に開催しており現状では難しいと考えています。

モデル住宅の建設については、北海道住宅供給公社において住宅メーカーへの分譲宅地無償貸出制度があり情報提供を行います。

③本事業の対象となる方については、みどり野団地の分譲価格が定価の半額になることのPRなどを行い、また、中古物件の流通は現在順調であることから、新築住宅に対する助成を優先的に取り組みます。

その他の質問

☜**問**　都市と農村の交流を促進し、新規就農者の受け入れ推進を。

町　長　就農相談会や受け入れ窓口の強化について検討します。

問 専任の「移住定住促進支援員」の設置は

答 第6期総合計画策定の中で検討します

菅原　文子 議員

菅原議員

町政執行方針の中で「町の魅力を積極的にPRすることで、知名度向上と移住定住の促進を図ります」とあります。

子育て支援策、「なんと！なんぽろ」、地元アイドルの「スペシャリティーガールズ」などのPRが浸透し、知名度がアップしてきたと感じており、特にフェイスブックは、本町の温かい人の流れがよくわかる良い企画だと思います。そこで2点伺います。

①町の魅力をどのようにPRしていくのか。

②移住定住希望者、移住定住後の支援として、専任の「移住定住促進支援員」を設置して、安心して南幌町に移住できるようPRする考えは。

町　長

幅広く本町の魅力をPRし、一人でも多くの方々に知っていただける機会をつくる必要があります。

①知名度向上対策事業として、主に札幌圏内に居住する子育て世代を中心に、知名度向上及びイメージアップを図るため、地元アイドルの継続や各種イベントへの出展、広告宣伝などを予定しており、移住促進や地域誘客の促進を図りながらPRしていきます。

②協力隊、支援員は町外から来ていただく環境ではなく、本町の財産を生かす手法をどうしていくかということを考えています。

移住定住の促進に係る施策全般について、さらに研究する必要があることから、第6期総合計画策定の中で検討していきます。

問 町立病院の維持と医療連携強化は（町政執行方針に対して）

答 かかりつけ医を基本に対応します

志賀浦　学 議員

志賀浦議員

町立病院は、4月から新たな体制で維持されることになりましたが、5点伺います。

①町立病院は、新年度から外科医が不在になります。外科治療は初期対応を含め専門医等と適切な連携のうえ対応するとあるが、住民が理解できるようお示し願います。

②病院経営は入院患者の減少に伴い厳しい状況です。今後、内科医2名体制で入院患者受け入れに支障は。

③診察室と待合室の間で診察内容が漏れ聞こえるという意見もあるが、どのように考えるか。

④診療報酬改定で、町立病院への影響額は。

⑤町財政を試算し、長期的に検討する必要があると思うが。

町　長

①外科治療の対応は、肩や腰・膝などの痛みについてはレントゲン検査を含め初期診断、投薬、小外傷の縫合、膝関節の注射などを行います。骨折などの患者の場合、初期診断後、速やかに整形外科などに紹介します。

②内科医2名体制になることにより、症例相談などの連携がスムーズになると想定され、徐々に利用率が上がってくると期待しています。

③医師の説明が丁寧で、高齢者からは好評を得ていますが、臨機応変に対応していきます。

④診療報酬の改訂は示されたばかりで、今後整理していきます。

⑤一生懸命やることと考えています。

その他の質問

☜**問**　防災無線戸別受信機の設置後のアフターケアの窓口は。

町　長　町が窓口となり、電波の状況調査や受信機の状態確認を行います。

問 きらら街道の整備と遊歩道・自転車道の設置を

答 各種事業の進捗の中で交通体系を検証し総合的な検討が必要

原田　弘克 議員

原田議員

きらら街道は、通勤・通学など生活道路として重要な役割を担い交通量の多い町道ですが、現在抱える問題点と将来的な役割について2点伺います。

①交通事故の多い道道交差点を拡幅し、右折レーンを設置する考えは。

②遊歩道・自転車道を設置し、南幌温泉を核とした新しい人の流れをつくり、魅力あるまちづくりへの住環境整備の考えは。

町　長

①右折車による影響は大きいとは言えず、用地買収・橋梁拡幅が必要であり、整備には時間を要することから、今後の交通の流れなどを検証し検討していく必要があります。

②きらら街道は交通量も多く歩道の必要性は認識していますが、用地買収・補償費など約6億円の費用がかかり、国の社会資本整備総合交付金の活用も難しく、現状では町単独で賄うしかなく整備は難しいと考えていますが、現在進められている晩翠遊水地及び千歳川堤防整備の完成による温泉周辺の環境整備や、道央圏連絡道路の整備により、人や車の流れが大きく変わることも考えられます。これらの事業の進捗状況に合わせて、町全体の交通体系について検証し、歩道や右折レーンについて総合的な検討が必要と考えています。

問 子育て世代をターゲットにした政策・誘導策は

答 子育て世代住宅建築費助成事業を中心とした政策を実施します

川幡　宗宏 議員

川幡議員

人口減少対策は、まちづくりの基本です。本町もこのままで推移すると高齢化率が著しく上がり、超高齢化の町になるのは必定です。

現在の人口8千人を維持するという高い目標を設定し、南幌町の売りである緑豊かな田園文化都市なんぽろとともに、子育て政策を充実させ、広い大地の中で子ども達が心身ともに健やかに育つ環境にすることが、若い子育て世代を誘致する唯一の方法だと思います。

町の人口ビジョンの基本目標に若い世代の結婚、出産、子育てを支援するという項目があります。今こそ子育てのまち南幌で売り出し、子育て世代をターゲットにした政策、誘導策を実施し誘致すべきと思うが、町長の考えを伺います。

町　長　子育て世代をターゲットにした政策、誘導策については「子育て世代住宅建築費助成事業」を初めとした移住、定住施策と、0歳から小学校卒業までの医療費の全額助成などを着実に進めていきます。

地方創生人口ビジョンの中で、2040年6，400人の人口設定をしました。町には住宅用地が680宅地残っています。この宅地をどうやって埋めるかによって、伸び率が変わると思っています。設定した6，400人をできるだけ上回れるよう努力していきます。次の施策はどうあるべきかも検証することも必要であり、第6期総合計画の策定に向けて、人口減少対策に有効な施策や事業に取り組んでいきます。

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会を、３月10日、11日、14日に開催し、審議の結果、平成28年度各会計予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）及び関連議案は全会一致で「可決すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

委員　協働まちづくり推進事業で、従前やっていた事業が新規に使えないということで、使い勝手が悪いという意見があった。要件見直しの考えは。

まちづくり課　28年度は要件を緩和しましたので、その点も踏まえて引き続き周知を行い申請がふえるような形で実施していきます。

委員　新規事業の子育て世代住宅建築費助成事業について、南幌町で働いていて、町外に住んでいる方に対する対策は。

まちづくり課　南幌工業団地、晩翠工業団地に勤めている従業員で、町外から通われている方もおりますので、全企業に対し本事業のチラシ配布や周知に取り組みます。

委員　ふるさと応援寄附金について、新しい施策はあるのか。

総務課　昨年度、南幌産新米ゆめぴりかを1，200セット限定で発送しています。人気のある謝礼品なので28年度は米の品種を5キロずつ2種類のセットで2，400セットとし、倍の発送をすることでPRできると考えています。農産物で人気のある「ピュアホワイト」、「あまいんです」についても、現在生産者の方と協議し作付面積をふやしていただき、27年度よりも多く謝礼品を出していきたいと検討しています。

　また、寄附をいただいた方に四季折々の絵はがき等を発送する予算を計上しています。

委員　知名度向上対策事業の地元アイドルについては28年度も継続するということだが、企画検討はまちづくり課で行うのか。

まちづくり課　地元アイドルの取り組みに係る企画等は、広告代理店やプロダクション、それと町も入った中で協議を行い、どういった広告展開が有効なのかを協議し決定していきます。

農林水産業費

委員　新規事業のGPS利用にかかるRTK基地局の設置内容について伺う。

産業振興課　インターネット配信の基地局を1基設置する方向で協議しています。スマートフォンを介してトラクターに情報を送る内容で、半径20㎞あれば十分届くということで1機で補える考えです。基地局は役場か農協の庁舎になる予定です。メンテナンスはインターネット方式を活用し、故障の対応などは全て遠隔操作により対応できると考えています。

用語豆辞典

【GPS】
GPSとは、人工衛星を利用した位置測位システムのこと。

【RTK】
RTKとは、リアルタイムな位置情報を補正するシステムのこと。

商工費

委員　ふるさと物産館の軽食コーナーの新メニューの考えは。

産業振興課　現在、調理員と相談をしながら特産品を使った新メニューを開発しており、4月から1つ加えていきたいと考えています。

土木費

委員　中央公園のちゃぷちゃぷ池が復活するということで、その改修内容は。

都市整備課　今回の改修は、割れやひびの補修、塗装を実施します。それと池の周りに人工芝を設置し、池に土足で入らないようにします。設置後については指定管理者で週2、3回の清掃を行います。

　また、池の水道水は安全性を確保するため大腸菌等の調査を行います。

委員　中央公園のロッククライミングについて、現在ボルトが基準に満たないので登ってはいけないという

ことだが、札幌などでも子どもたちのロッククライミングが流行っている。ボルトを取りかえる計画が組めるのか。また、中央公園の看板が無くなって7、8年経つが、町の真ん中にあり観光事業という面で大事だと思うが設置の検討は。

都市整備課　ロッククライミングは現在使用できません。公園の長寿命化計画にも当然整備していかなければならない項目となっていますが、その中でも優先順位があるのでその時期に来たら検討していきます。看板等の計画は現在持ち合わせておりません。今後、町全体の案内表示だとか、観光の面など町全体のことを踏まえ検討していきます。

教育費

委員　読書活動推進事業の読書通帳の利用者数は。

生涯学習課　読書通帳の現在の利用状況は、27年度から始めて440冊発行しています。内訳は幼児が103冊、小学生が203冊、中学生以上が104冊です。1人で2冊以上発効されている方は、現在41名います。

委員　今までの町民プールの跡利用の考えは。

生涯学習課　施設の利用検討はしましたが、施設の老朽化、駐車場スペースが無く、屋根が冬期間耐えられる構造ではないなどの問題から解体する方向で考えています。

国民健康保険特別会計

委員　特定健診について、昨年から健康ポイントを実施しているが、その内容は。

住民課　現状では5枚綴りのチケットを発行しており、2月末現在で648冊、金額で32万4千円分を出している状況です。そのチケットは、こちらも2月末現在で、32万4千円に対し8万100円、24・7％で約4分の1ということで、あまり使われていない状況です。

ただ、このチケットは年間で発行しており、3月近くに受ける方もいることから、期限を来年の29年3月までとしています。今後、本年末が近づいてきたころになっても利用されてないようであれば広報等で周知していきます。

病院事業会計

委員　病院の今後の改修予定は。

町立病院　本年度実施設計を行うため、調整をしています。改修工事は、来年度を予定しています。

介護保険特別会計

委員　高齢者を対象としたプール教室の講師と内容は。

保健福祉課　高齢者の方を対象とした教室は、町内在住の健康運動指導士とスポーツセンター指導員にお願いする予定で、2クール、延べ実人員で30名の方を予定しています。

私のまち・ひと・しごと

議会だより表紙の方を紹介します。

日生バイオ株式会社　北海道工場

工場長　山田　義久氏

昨年、夕張太小学校跡地を購入し、改修工事を行っていた「日生バイオ（株）北海道工場」の試験操業が4月から始まりました。本格的な操業は、今年の大麦若葉の生育具合を検分し、6月から7月を予定してます。操業に伴い、南幌町内からの雇用も当初3名でしたが、5名ふやし8名を雇用していく予定。製品製造計画では平年ベース（H30年）で10トンを計画しています。

大麦若葉の栽培とそれを原料とする「大麦若葉エキス末」の商業生産は、北海道では初の挑戦と言うことで大いに期待されています。

山田工場長は、「地域との密接な連携も視野に入れ、操業をしていきたい」と語っており、工場に設置している機器を使った特産品開発などの請け負いを計画しているとのことです。

議会広報委員：西股　裕司

南幌町議会
議会報告懇談会

町民に身近な議会を目指して

○平成28年2月27日（土）　18時～20時
三重レークハウス
○平成28年2月28日（日）　18時～20時
ビューロー

日頃の議会活動やまちづくりへの取り組みなどについて、町民の皆さんとの懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくことを目的に、議員による議会報告懇談会を開催しました。

たくさんのご意見をいただきましたが、誌面の都合上一部抜粋してお知らせします。

安心・安全

住民　昨年この懇談会で、事件があまりにも多いので、町内の要所に防犯カメラを付けてほしいと要望し、今回予算付けしていただいた。2カ所設置する予定とのことだが、今後もふやす計画はあるのか。

議員　今後、計画的に設置していく内容で聞いています。

巡回バス

住民　バス路線の近くに住んでない人は利用しづらい面もある。今は車が運転できるからいいが、年をとったら車も運転できなくなるし、巡回バス路線まで遠ければ歩いて行くのもつらい。

議員　現状では巡回バスを利用していない人からはアンケートや意見を吸い上げていないので、そういう面も提案していきたいと思います。

南幌高校・高校生

住民　高校生の通学費補助について、中には通学手段が無く寮に入る人や、通学でも最寄りの駅まで毎日親が送迎しなければない方にとっては、その負担というのはものすごく大きい。そこまで考えていただければ子育て支援につながっていくと思う。

議員　通学補助に関しては、できれば南幌中学校を卒業する全員に同じような待遇でと思っていますが、これも見直しの時期に入ってくるので、訴えていきます。

住民　南幌高校は今までの80万円の助成から360万円になったということで嬉しく思う。高校を無くしてはいけないというところではいろんな工夫をしているようだが、本町の現状はどうか。

議員　高校支援は総務委員会で検討しています。1間口ということで危機感を持って早急に申し入れ、町の方もすぐ対応してくれています。入学時支援ではなくて卒業時支援の形で海外研修も補助を行い、少し動き出してくれたと思っています。地域に残していかなければならないと考えています。

住民　高校の件は、まちづくりと連動していると思

う。卒業し、そこに就職するという面につながってくる。本町は農業の町で、それを生かして新しい産業を興し、そこへ南幌高校を卒業した人が活躍できる場所を作り、南幌高校に行くと進路が開けるということになれば、行きたい人もふえてくると思うが。

議員　実行性あるものにしなければ学校が無くなってしまうような状況にあります。そのことを踏まえて、実施していくことを考えています。しっかりと議会としても取り組みたいと思います。

移住定住

住民　移住体験は春夏秋冬と季節ごとに移住体験する方がいるが、やはり北海道は冬を体験しないと移住するかどうかは決まらないと思うが。

議員　本町にも移住体験住宅があり、今年度から冬の体験もすることになりました。四季の中で素晴らしい町をPRし、今後さらに交流人口をふやして、南幌町がいいということを訴えていけるような取り組みを続けていきたいと思います。

町立病院

主な意見

・住民　地域の病院は住民が育てていくという面があると思うし、それが無ければやってはいけないと思う。

・住民　私も町立病院にかかっているが、今の町立病院の体制は立派だ。江別市立病院との連携もきちんとれているし、周りの人の話でも安心していけるようになったという声も聞こえてくる。

・住民　町立病院の外科が廃止になるが、ちょっとした怪我などの場合はどのように考えているのか。高齢者を抱えている身としては近くにホームドクター的な方がいれば非常に安心だ。高度医療は江別市立病院でも紹介していただけるので、ホームドクター的な形で診てくれる町立病院を残してほしいと思う。

・住民　町立病院で総合内科ということですが、小児科がなくなり、不便を感じている方もいる。総合内科で小児科的なものを週に1回とか曜日を決めてくれればいいと思う。

・住民　町立病院の外来は、診療中の声が聞こえるので、患者さんは利用しづらいと思うが。

議員　内科医が2名の総合内科的な形になります。

今後は皆さんの要望や3月から定例会が始まりますが、しっかりと聞き取りをして、また皆さんにお知らせする形にいたします。

議会改革

住民　議会報告懇談会について、議会側もどうやって住民に集まってもらうかということで苦心していると思う。参加して、いい情報を聞けたと思います。

議員　3月の定例会に向けて、皆様方の声を聞いて町政に反映していきたいと考えています。皆様から要望があればどこへでも行って懇談会を開催したいと思うので、是非呼んでいただきたいと思っています。

定例会の録画映像DVDの貸し出しについて

身近な議会、開かれた議会の実現を目指し、本会議を録画したDVDの貸し出しを行っています。

録画映像DVDの貸し出しは、議会事務局へお問い合わせください。

議会懇談会をご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくことと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

○町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。

○地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見等を議員が直接伺います。

○開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。

○出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。

その他

○通年開催しています。

○開催場所・時間については各地域の集会所または公共施設等で開催します。懇談時間は2時間以内とします。

○申込等については、議会事務局へお問い合わせください。